



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 東映株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9605 URL <https://www.toei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手塚 治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山内 敬 (TEL) 03(3535)4641
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	34,103	32.2	4,622	23.8	7,148	41.8	3,142	69.8
2022年3月期第1四半期	25,805	22.8	3,735	48.4	5,040	52.2	1,850	207.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 6,317百万円(238.0%) 2022年3月期第1四半期 1,869百万円(△54.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	253.20	—
2022年3月期第1四半期	149.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	354,728	264,880	57.3
2022年3月期	348,561	261,127	57.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 203,289百万円 2022年3月期 200,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,400	22.0	22,900	28.6	27,100	16.3	11,000	22.5	886.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	14,768,909株	2022年3月期	14,768,909株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,357,968株	2022年3月期	2,357,867株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	12,411,012株	2022年3月期1Q	12,411,503株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が徐々に緩和され、景気回復の動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や急激な円安進行等に伴う物価上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、映像関連事業を中心により一層のコンテンツ事業の強化及び効率的な活用を図り、堅実な営業施策に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は341億3百万円（前年同四半期比32.2%増）、経常利益は71億4千8百万円（前年同四半期比41.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億4千2百万円（前年同四半期比69.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 映像関連事業

映画事業では、提携製作作品等11本を配給し、このうち「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」が大ヒットしました。

テレビ事業では、「特捜9」「警視庁・捜査一課長」「暴太郎戦隊ドンブラザーズ」等を制作して作品内容の充実と受注本数の確保に努め、キャラクターの商品化権営業は玩具等に関する消費者の嗜好が多様化するなか、堅調に推移いたしました。

コンテンツ事業では、劇場用映画等の地上波・BS・CS放映権及びビデオ化権の販売に加え、VOD（ビデオ・オン・デマンド）事業者向けのコンテンツ販売等を行うとともに、劇場用映画のDVD・ブルーレイディスク作品やテレビ映画のDVD・ブルーレイディスク作品を販売いたしました。アニメ関連では、「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の海外上映権販売や海外映像配信権販売に加え、「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズ等の商品化権販売が好調に稼働しました。

以上により、当セグメントの売上高は257億1百万円（前年同四半期比26.5%増）、営業利益は45億7千5百万円（前年同四半期比1.1%減）となりました。

② 興行関連事業

映画興行業では、経済活動の制限緩和を背景に興行収入は堅調に推移し、当第1四半期連結会計期間末現在において、214スクリーン体制（東映株直営館4スクリーン含む）で展開しております。

以上により、当セグメントの売上高は45億5千7百万円（前年同四半期比76.1%増）、営業利益は2億7千3百万円（前年同四半期は営業損失2億7千万円）となりました。

③ 催事関連事業

催事業業では、感染拡大防止策を徹底した上で「生誕50周年記念 THE仮面ライダー展」「出版120周年 ピーターラビット展」等の各種イベントを開催したほか、映画関連商品の販売及び催事関連商品の通信販売を行いました。東映太秦映画村においても、感染拡大防止策を徹底し、営業活動を行いました。

以上により、当セグメントの売上高は15億9千万円（前年同四半期比102.7%増）、営業利益は1億8千6百万円（前年同四半期は営業損失2億5千5百万円）となりました。

④ 観光不動産事業

不動産賃貸業では、「ブラッツ大泉」「オズ スタジオ シティ」「渋谷東映プラザ」「新宿三丁目イーストビル」「広島東映プラザ」等の賃貸施設が稼働いたしました。ホテル業においては、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除となり、行動の制限が緩和されたことで、徐々に需要の回復が見られました。

以上により、当セグメントの売上高は13億4千7百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益は5億1千万円（前年同四半期比49.2%増）となりました。

⑤ 建築内装事業

建築内装事業では、景気見通しが不透明ななか、従来の顧客の確保及び受注拡大を目指して積極的な営業活動を行い、シネコン関係の工事等を手掛けました。

以上により、当セグメントの売上高は9億6百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業損失は4千8百万円（前年同四半期は営業損失3千9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、3,547億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億6千7百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が27億8千3百万円、建物及び構築物が14億1百万円、土地が17億1千6百万円増加し、有形固定資産のその他が5億7千7百万円、投資有価証券が6億1千3百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、898億4千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億1千4百万円増加しました。これは主に、流動負債のその他が13億2千4百万円、長期借入金が76億8千9百万円増加し、短期借入金が51億7千4百万円、未払法人税等が13億8千万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、2,648億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ37億5千2百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が27億5千5百万円、非支配株主持分が12億2千7百万円増加し、その他有価証券評価差額金が10億1千万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、現時点においては、2022年5月16日発表の業績予想に変更はありません。なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,631	84,415
受取手形、売掛金及び契約資産	23,775	23,771
商品及び製品	1,571	1,408
仕掛品	17,648	18,270
原材料及び貯蔵品	425	412
その他	4,493	5,270
貸倒引当金	△62	△57
流動資産合計	129,483	133,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,661	37,062
土地	49,851	51,568
その他(純額)	3,750	3,172
有形固定資産合計	89,264	91,804
無形固定資産	1,087	1,222
投資その他の資産		
投資有価証券	114,288	113,675
その他	14,652	14,750
貸倒引当金	△215	△214
投資その他の資産合計	128,726	128,210
固定資産合計	219,077	221,237
資産合計	348,561	354,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,567	28,497
短期借入金	7,570	2,395
1年内返済予定の長期借入金	3,133	3,520
未払法人税等	3,201	1,820
賞与引当金	1,182	574
その他	11,995	13,320
流動負債合計	55,649	50,128
固定負債		
長期借入金	7,217	14,907
役員退職慰労引当金	844	299
役員株式給付引当金	100	100
退職給付に係る負債	4,825	4,870
その他	18,796	19,541
固定負債合計	31,784	39,719
負債合計	87,433	89,848

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,707	11,707
資本剰余金	22,598	22,598
利益剰余金	142,457	145,213
自己株式	△11,040	△11,042
株主資本合計	165,723	168,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,310	22,299
繰延ヘッジ損益	△1	△4
土地再評価差額金	11,508	11,508
為替換算調整勘定	533	1,303
退職給付に係る調整累計額	△310	△295
その他の包括利益累計額合計	35,040	34,812
非支配株主持分	60,363	61,590
純資産合計	261,127	264,880
負債純資産合計	348,561	354,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	25,805	34,103
売上原価	15,122	21,565
売上総利益	10,682	12,537
販売費及び一般管理費	6,947	7,915
営業利益	3,735	4,622
営業外収益		
受取配当金	449	1,137
持分法による投資利益	880	737
助成金収入	144	383
その他	79	337
営業外収益合計	1,554	2,595
営業外費用		
支払利息	19	29
為替差損	184	—
支払手数料	42	39
その他	3	1
営業外費用合計	248	70
経常利益	5,040	7,148
特別利益		
雇用調整助成金	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
災害による損失	—	7
固定資産除却損	3	1
臨時休業による損失	159	—
その他	16	—
特別損失合計	180	9
税金等調整前四半期純利益	4,861	7,138
法人税、住民税及び事業税	961	1,361
法人税等調整額	587	216
法人税等合計	1,549	1,578
四半期純利益	3,311	5,560
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,460	2,418
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,850	3,142

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	3,311	5,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,689	260
繰延ヘッジ損益	△1	3
為替換算調整勘定	148	1,722
退職給付に係る調整額	△7	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	106	△1,221
その他の包括利益合計	△1,442	757
四半期包括利益	1,869	6,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529	2,913
非支配株主に係る四半期包括利益	1,340	3,403

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、2022年6月29日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打切り支給を決議しております。これに伴い、「役員退職慰労引当金」を取崩し、打切り支給に伴う未払額450百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	建築内装 事業	計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	20,322	2,588	784	1,195	914	25,805	—	25,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	225	53	131	149	18	578	△578	—
計	20,547	2,641	916	1,345	932	26,383	△578	25,805
セグメント利益又は損失(△)	4,626	△270	△255	342	△39	4,402	△667	3,735

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△667百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△655百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	映像関連 事業	興行関連 事業	催事関連 事業	観光 不動産 事業	建築内装 事業	計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	25,701	4,557	1,590	1,347	906	34,103	—	34,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	371	34	121	185	2	717	△717	—
計	26,073	4,592	1,712	1,533	909	34,820	△717	34,103
セグメント利益又は損失(△)	4,575	273	186	510	△48	5,497	△874	4,622

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△874百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△870百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。